

ひと 人のせつめい

アダム ちきゅうにすんださいしょのだんせい。

アマリキヤ ニーフアイ人の王になろうとしたが、人びとのじゆうをうばおうとしたあくにん。王になれなかったため、レーマン人のもとへ行ってくらしした。

アマロン あんぜんにかくしておくことができるようにモルモンにきろくをわたした正しい人。

アミュレク むすこアルマのどうりょうせんきょうし。二人はろうやに入れられたが、神の力によってろうやのかべをこわした。

アミュロン ノア王のわるいさいし。アルマのたみをしはいした。アミュロンはアルマのたみをむりやりはたらかせて、いのるものはだれでもころすとアルマのたみをおどした。

アマリサイ ニーフアイ人の王になろうとしたあくにん。アマリサイは王になれなかったためになかまといっしょにニーフアイ人からはなれて、ニーフアイ人をこうげきした。後に、レーマン人といっしょに生活した。

アマリサイ人 アマリサイにしたがった人びと。アマリサイ人は自分のひたいに赤いしるしをつけて、レーマン人といっしょにくらしした。

アビナダイ ノア王に教えるためにつかわされたよげんしゃ。ノア王はアビナダイをやきころした。

アルマ(父) アビナダイの教えをしんじたノア王のさいし。後に教会のしどうしゃになった。

アルマ(むすこ) アルマのむすこ。はんこうして教会をほろぼそうとしたが、心を入れかえて、ふくいんを教えるようになった。かれは教会のしどうしゃとなり、さいしょのたさばきつかさになった。

アロン モーサヤ王のむすこたちの一人。レーマン人にでんどうした。

アンタイ・ニーフアイ・リーハイ人 (「アンモンのたみ」の項を見ましよう。)

アンモン¹ ゼラヘムラからニーフアイの地へ行って、ニーフアイ人をつれ出したニーフアイ人のしどうしゃ。

アンモン² モーサヤのむすこたちの一人。ラモーナイ王のかちくのみれをとうぞくからもった。アンモンはでんどうちゅう、多くのレーマン人に教え、しんじさせた。

アンモンのたみ モーサヤのむすこたちによって神をしんじたレーマン人。かれらはぶきをじめんの中にうめて、けってたたかわないことをせいやくした。

イシマエル エルサレムにすんでいた人で、リーハイのかぞくといいしょにやくそくの地へ行った。イシマエルのむすめたちはリーハイのむすこたちとけっこんした。

エテル ヤレドのたみにくいあらためるように言い、人びとがほろびることについてきろくしたよげんしゃ。

エノス ヤコブのむすこ。一日中、ニーフアイ人とレーマン人のためにいのった。

エバ ちきゅうにすんださいしょのじよせい。

王せいとうの人びと さばきつかさではなく、王によっておさめられることをのぞんだニーフアイ人。かれらは王をもつことができなかったため、レーマン人といっしょになってニーフアイ人にたたかいをしかけた。

オムナー モーサヤ王のむすこでレーマン人にでんどうした。

ギデオ ニーホルが人びとにまちがった教えをのべはじめた時に、教会をまもった正しいニーフアイ人。ギデオはニーホルによってころされた。

コリアンタマー ヤレドのたみの中で生きのこった人の一人。わるい王だった。

コリアントン むすこアルマの子ども。せんきょうしとして正しいことを行わなかった。また神の教えにちゅうじつではなかった。

コリホル 神が生きておられるしるしをもとめたわるい人。神はコリホルにものが言えなくなるしるしをあたえられた。

サム リーハイとサラリアの正しいむすこ。

サムエル、レーマン人 イエス・キリストがお生まれになることとなくなられることについてニーフアイ人によげんしたよげんしゃ。

サラリア リーハイのつま。

シズ わるいヤレド人。シズはぐんたいをひきいてコリアンタマーとたたかった。さいごまで生きのこったヤレド人の一人だった。

じゆうとうの人びと じゆうに生活し、自分でえらんだとおりにれいはいすることをのぞんだニーフアイ人。かれらは王ではなく、さばきつかさによっておさめられていた。

ジョセフ・スミス・ジュニア きんぱんからモルモン書をほんやくしたまつじつのよげんしゃ。

シーレム しるしを見せたらイエス・キリストをしんじると言ったわるいニーフアイ人。

セアンタム セゾーラムの兄弟。セアンタムはセゾーラムをころした。

ゼーズロム 神が生きていないと言うならお金をあげるとアミュレクに言ったほうりつのせんもんか。ゼーズロムはむすこアルマからふくいんを聞いて、くいあらためた。

セゾーラム 兄弟からころされたたさばきつかさ。

ゼニフ ニーフアイ人をゼラヘムラからニーフアイの地までつれて行った正しいしどうしゃ。ニーフアイ人はそこでレーマン人のわるい王のどれいになった。

ゼラヘムナ ニーフアイ人とたたかい、ニーフアイ人をどれいにしたいと思ったレーマン人のしどうしゃ。ゼラヘムナはしれいかんモ

ロナイのぐんたいとたたかった時に頭のかわをはぎとられた。

ゾーラム ラバンのしもべ。リーハイのかぞくといっしょにやくそくの地へ行った。

ゾーラム人 むかしは神の教会に入っていたが、わるい人になった。ゾーラム人はおいのりをするために、かいどうの中にもラミアンブトムとよばれたばしょをつかった。

2,000人の青年へいし ヒラマンといっしょにたたかいて行ったアンモン人の青年たち。かれらは、たたかわないことをせいやくしたりようしんがころされないようにするためにたたかった。

ニーファイ¹ リーハイとサラリアの正しいむすこ。ニーファイはラバンからしんちゅうのはんを手に入れ、船をつくって、かぞくをやくそくの地へつれて行った。

ニーファイ² ヒラマンのむすこ。ニーファイは弟のリーハイとともにろうやになげ入れられた時に、火のはしらにつつまれた。ニーファイは人びとをくいあらためさせるためにききんをおこした。

ニーファイ³ キリストによってでしにえらばれ、教会のしどうしやにえらばれた正しい人。

ニーファイ人 ニーファイにしたがった人びと、またはふくいんをうけ入れた人びと。

ニーホル 神の教会にはんたいしてだいたんに言いあらそったわるい人。ニーホルはギデオンをころして、しけいになった。

ノア王 お金やたからものをたいせつにし、人びとにわるいことを教えたわるいニーファイ人の王。ノア王は自分の国の人びとからやきころされた。

ハゴス 何せきもの大きな船をつくったニーファイ人。多くのニーファイ人を北の方へつれて行った。

パホーラン ニーファイ人の大さばきつかさ。パホーランはしれいかんモロナイがわるいことを行うニーファイ人をまかすのをたすけた。

ヒラマン むすこアルマの長男。ヒラマンはアルマからはんをわたされて、人びとのれきしを書くように言われた。ヒラマンはたたかいて行った2,000人の青年たちのしどうしやでもあった。

ヒムナイ モーサヤ王のむすこでレーマン人にでんどうした。

ベニヤミン王 正しい王。とうに立って、人びとにイエス・キリストについて教えた。

マリヤ イエスの母。

モーサヤ王 ニーファイ人のさいごの王。モーサヤ王には4人のむすこがいた。

モーサヤのむすこたち モーサヤ王のむすこたち。アロン、アンモン、ヒムナイ、オムナーはレーマン人の間でゆうかんにでんどうした。

モルモン ニーファイ人のぐんたいのしどうしやであり、ニーファイ人のさいごのよげんしやの一人だった。モルモンはモルモン書をまとめた。

モロナイ モルモンのむすこで、ニーファイ人のさいごのよげんしや。モロナイはきんばんをうめて、後にてんしとしてジョセフ・スミスにあらわれた。

モロナイ、しれいかん ニーファイ人のぐんたいの正しいしどうしや。しれいかんモロナイはじゅうのはたをつくって、じゅうをまもるためにたたかうようぐんたいをたづけた。

ヤコブ リーハイとサラリアのむすこ。ヤコブは、キリストなどというものはいるはずがないと教えるシーレムとどちらの方が正しいかを話し合った。

ヤレドの兄弟 ヤレドのたみがやくそくの地にむかう船の中で明かりをもつことができるように、ゆびで16この石にふれてくださるようイエスにおねがいをしたよげんしや。

ヤレドの民 バベルのとうをさって、船でやくそくの地まで行ったヤレドとヤレドの兄弟にしたがった人びと。

ヨセフ あれ野で生まれたリーハイとサラリアの正しいむすこ。

ラバン エルサレムにすんだわるい人。ラバンはリーハイのむすこたちにしんちゅうのはんをわたそうとしなかった。

ラモーナイ王 ふくいんを聞いてしんじたレーマン人の王。アンモン²はラモーナイ王のかちくのむれをどろぼうからまもった。

ラモーナイ王の父 ふくいんを聞いてしんじたレーマン人の王。ラモーナイ王の父は神を知るためにつみをおかさないと言った。

リーハイ¹ エルサレムがほろぼされることをけいこくしたよげんしや。リーハイはかぞくをつれてあれ野へ行くようにと言われた神のことばにしたがった。

リーハイ² ヒラマンのむすこ。リーハイは兄のニーファイとともにろうやになげ入れられた時に、火のはしらにつつまれた。

リムハイ王 わるい王ノアから生まれたよいむすこ。リムハイ王は人びととともにレーマン人のどれいとなったが、かいほうされた。

レーマン リーハイとサラリアの長男。レーマンはわるい人で、神にしたがわなかった。

レーマン王 レーマン人のわるい王。レーマン王はゼニフとニーファイ人に二つの町をあたえたが、後になってこうげきした。

レーマン人 レーマンとレムエルのしそんとかれらにしたがった人びと、またはふくいんをうけ入れなかった人びと。

レムエル リーハイとサラリアのわるいむすこ。